

(限 内 部)

0512

海軍公報(部内限) 號外

○ 令 達

昭和十二年十一月二十日(土)
海軍大臣官房

官房第四七五六號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十二年十一月十九日

航海長 主管

海 軍 大 臣

消耗品	區 別	艦 船 部 隊 名		數 量		記 事
一二〇	類 別	本主管	他主管	本主管定額表	他主管渡	
乾 燥 劑	番 號	品 名	稱 數	合 計	總 務 長 官 管	
個		戰艦(山城扶桑ヲ除ク)		8		
		山城、扶桑、一等巡洋艦		6		
		最上、三隈		6		
		鈴谷、熊野		4		
				10		
				6		

海軍公報(部内限) 號外

消耗品													
一一〇													
乾燥劑													
個													
千鳥型水雷艇	伊號第			呂號第 33、 34	伊號第				滿潮、荒潮、 白露型驅逐艦、 朝雲、夏雲、 初春型驅逐艦、 山雲	沖島	龍驤、大鯨	加賀、赤城、蒼龍	天龍型、球磨型、長良型、川内型 二等巡洋艦、鳳翔、長鯨、迅鯨
	72、	65、	5、		68、	61、	56、	1、					
	73	66、	6、		69、	62、	57、	2、					
		67	7		70、	63、	58、	3、					
			71	64	60	4							
	潜水艦			潜水艦									
	4			2				2	2				
2								2	2	2	4	6	2
2	4			2				4	2	4	4	6	2
2								2	2	2	4	6	2

0514

海軍公報 (部内限) 號外

航海長主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品乾燥劑ノ數量ハ本達申航海長主管ヨリ他主管渡ノ數量ニ同シ

砲術長主管

消耗品			
一一			
二〇			
乾燥劑			
個			
馬公防備隊	第		鴻型水雷艇
	51、52、53	1、2、3	
	驅潜艇		第17、18掃海艇
	2		2
2			2
2	2		4
2			2

三

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十一號

昭和十二年十一月二十二日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第四七六五號

昭和十二年十一月二十日

海軍大臣

登 今 提 載

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十一年官房機密第三二五三號中左ノ通改正ス

昭和十二(教育)年度練習艦艇配當表中海軍砲術學校

乃至海軍航海學校ノ部ヨリ「第九潜水隊」ヲ、海軍潜

水學校ノ部ヨリ「第十三潜水隊」ヲ削ル

(昭和十一年十二月一日公報(部内限)参照)

官房機密第四八〇一號

昭和十一年官房機密第三三三八號ニ依リ昭和十二年度

ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス

昭和十二年十一月二十二日

海軍大臣

海軍公報(部内限) 第二千七百七十一號 昭和十二年十一月二十二日

一一四一

表中航空術ノ部 操縦、偵察、ノ項中左ノ如ク改
(操縦、偵察、ノ項中左ノ如ク改)
(操縦、偵察、ノ項中左ノ如ク改)

航空術	操縦	二〇五	一一〇	一二五	四四〇
	偵察	一一五	五五	七〇	二五〇
	操縦	二〇五	一一〇	一二五	四四〇
	偵察	一一五	五五	七〇	二五〇

(昭和十一年十二月十八日公報(部内限)参照)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第二十一潜水隊司令ハ十一月十七日司令潜水艦ヲ呂號

第三十三潜水艦ヨリ呂號第三十四潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

第十三潜水隊(伊二一、伊二二)宛

十一月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 佐世保

0516

海軍公報(部内限) 第二千七百七十一號 昭和十二年十二月二十二日

二四二

○書類標識ニ關スル件通知
從來當廠(司令部、局)ヨリ發付ノ圖書(文書、圖面等)ニシテ「極秘」ノ標識アルモノハ總テ「軍極秘」ノ取扱相成度

横須賀海軍工廠
舞鶴海軍工廠
海軍火藥廠
海軍省教育官局
海軍省教育官局

○入校期日
來十二月一日任命セラレベキ本校第二十二期專攻科學生ハ十二月八日始業豫定ニ付十二月七日迄ニ入校セシメラレ度

(海軍工機學校)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、那珂、阿武隈、大鯨

▽八雲、▽山城、春日

沖風、峯風、▽羽風、秋風、▽島風、

灘風、汐風、夕風

▽伊二四、伊二三、伊七

富士、尻矢

(飛龍)、(劍崎)、(高崎)

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九

【浦賀】

(霞)

【館山】

澤風

【大湊】

▽神風、野風、波風、沼風、帆風

【函館】

大泊

【吳】

▽伊勢、衣笠、青葉、長鯨、熊野、鈴谷

夕顔、矢風、▽薄、葛、藤、白雲

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一、

▽呂三四、呂三三、▽伊五三、伊五四、

▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊二二、

伊二一

攝津

(蒼龍)、(千歲)、(千代田)

古鷹

(山雲)、(峯雲)

▽伊七二、伊七三

(荒潮)、(朝雲)、(伊八)、(伊七五)

石廊

平戸、淺間

隱戸

吾妻

▽東雲、叢雲、薄雲

伊五二

(霞)

赤城、加古、磐手、長良、▽金剛、▽霧島、

榛名

梨、竹、樺、桃、柳、檜、董、▽蓼、

菱、蓬、▽夕風、朝風、▽文月、水無月、

長月、皐月、▽時雨、白露、白雲、▽大潮、

朝潮、村雨

呂三〇、▽呂三一、▽呂三二、▽呂六〇、

▽呂六一、▽呂六二、▽呂六四、▽呂六三、

▽呂六八、▽呂六七、▽呂六五、▽呂六六、

▽伊五九、伊六〇、伊六三

敷島、早瀬、間宮、野島、洲埼

(夏雲)、(伊七四)

海軍公報(部内限) 第二千七百七十一號 昭和十二年十一月二十二日

一四三

【西戸崎】 知床
【橋灣】 鳳翔

【長崎】 (利根) ▲
卯月

【馬公】 春風

【基隆】 狹霧

【鎮海】 葦
鶴見

【作業地】 出雲、嚴島、安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、駒橋、白鷹、沖島、北上、妙高、多摩、足柄、天龍、龍田、木曾、夕張、能登呂、神威、由良、名取、鬼怒、龍驤、高雄、摩耶、鳥海、羽黑、那智、神通、迅鯨、加賀、勝力、川内、大井、球磨、澁、栗、梅、遠、菊月、望月、夕月、三日月、響、雷、電、初雪、吹雪、曉、漣、若竹、吳竹、早苗、芙蓉、刈萱、朝顔、疾風、追風、菊、葵、萩、松風、朝風、旗風、隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、綾波、浦波、波磯、敷波、夕立、五月雨、春雨、有明、夕暮、初霜、若葉、子日、初春、彌生、陸月、如月、山風、海風、江風、涼風、榆、柿、滿潮

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

【航海中】

伊陸奥、長門、五十鈴、伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、(二十日佐世保發—横須賀)

日向、(二十日佐世保發—吳)

常磐、(二十日佐世保發—相生)

伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七

伊鴻、隼、鶴、鴨、千島、初雁、友鶴、真鶴、雌、鷺、雁、鳩

伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、襟裳、室戸、佐多、鳴戸

(號外一頁、辭令公報添)

0519

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十二號

海軍大臣官房

昭和十二年十一月二十四日(水)

○令 達

官房第五六一六號ノ四

海軍省主管臨時軍事費特別會計歳入科目中左ノ通追加

昭和十二年十一月十八日

海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(軍資金)	(軍資金)	物品拂下代			サ一

官房第五九四九號

左記ニ依リ海軍砲術學校特修科學生ヲ採用ス

昭和十二年十一月二十四日

海軍大臣

記

○雜 款

特修科目	採用員數		採用資格	入校時期	修業期間
	在籍	缺守府員數			
對空射擊術	横須賀	五	掌砲兵又ハ掌測的兵出身タル兵科特務士官又ハ准士官ニシテ主トシテ昭和十三年度聯合艦隊編入豫定ノ戰艦、巡洋艦(輕巡洋艦ヲ除ク)及航空母艦ノ高角砲臺附、機銃群指揮官又ハ機銃砲臺附ニ充ツベキ者	昭和十二年十二月十日	約三箇月

海軍公報(部内限) 第二千七百七十二號

昭和十二年十二月二十四日

二二四五

○將旗移揚

佐世保警備戰隊司令官ハ本月二十二日將旗ヲ金剛ヨリ長良ニ移揚シ即日金剛ニ復歸セリ

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、軍艦陸奥、長門、日向、第三戰隊司令部、軍艦霧島、榛名、第八戰隊司令部、軍艦由良、鬼怒、名取、第一水雷戰隊司令部、軍艦川内、第二驅逐隊(夕立、五月雨、村雨、春雨)、第九驅逐隊(時雨、白露、夕暮、有明)、第二十一驅逐隊(初霜、子日、若葉、初春)、第一潛水戰隊司令部、軍艦五十鈴、第八潛水隊(伊五、伊四、伊六)、第七潛水隊(伊二、伊一、伊三)宛
十一月二十日以後 各所屬軍港

第二艦隊各艦宛

自今左記ノ外ハ總テ

一、第二航空戰隊司令部、軍艦加賀、第二十四驅逐隊宛
所屬軍港

從來通

佐世保氣付

二、衣笠丸宛

當分ノ間

旅順氣付

第十三驅逐隊(若竹、早苗、吳竹)宛

十二月一日以後

吳

○艦船所在

指印ハハホフ
定ヲ要セズ

○十一月二十四日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、那珂、阿武隈▲、大鯨▲、

▽八雲▲、▽山城▲、春日、口陸奥、長門、

▽五十鈴

沖風▲、峯風▲、▽羽風、秋風、▽島風、

灘風、汐風、夕風

伊七▲

富士▲、尻矢

(飛龍)、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八▲、呂五九▲、▽伊一、伊二、伊三、

▽伊六、伊四、伊五

【浦賀】

(饗)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】 神風、野風、波風、沼風、帆風

【函館】

大泊

【吳】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、三隈▲、扶桑▲、

▽伊勢▲、衣笠、青葉、長鯨▲、熊野、鈴谷、

日向、鬼怒、▽神通

夕顔、矢風、▽薄、葛、藤、白雲、▽綾波、

浦波、波磯、敷波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五▲、伊七一▲

▽呂三四、呂三三、▽伊五三、伊五四、

▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊二二▲、

伊二一▲、▽伊六八、伊六九、伊七〇

攝津

(蒼龍)、(千歲)▲、(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】 伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【江田内】

平戸、淺間

【徳山】

早鞆

【舞鶴】

吾妻▲

▽東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

(叢)▲

【佐世保】 赤城▲、加古、磐手▲、長良、▽金剛、▽霧島、

榛名、▽由良、名取、▽川内、▽羽黒、那智、

▽迅鯨、球磨

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、薑▲、▽蓼▲、

菱▲、蓬▲、▽夕風、朝風、▽文月、水無月、

長月、草月、白雪、朝潮、(滿潮)、▽初霜、

若葉、子日、初春、▽菊月、望月、夕月、

海軍公報(部内限) 第三千七百七十二號 昭和十二年十一月二十四日

二一四七

三日月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲
 呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六三、
 呂六八、呂六七、呂六五、呂六六、
 伊五九、伊六〇、伊六三
 敷島▲、洲崎、隠戸、知床
 (夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】

鳳翔

【長崎】

卯月

【馬公】

(利根)▲

【基隆】

春風

【鎮海】

龍田

【作業地】

狹霧、吳竹

【鎮海】
 華、梯
 【作業地】
 口出雲、巖島、安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、
 勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
 駒橋、白鷹、沖島、北上、妙高、多摩、
 足柄、天龍、木曾、夕張、能登呂、
 神威、龍驤、高雄、摩耶、鳥海、加賀、
 勝力、大井、淀
 栗、梅、逆、雷、電、響、初雪、吹雪、
 曉、漣、若竹、早苗、芙蓉、刈萱、朝顔、
 疾風、追風、菊、葵、萩、松風、朝風、
 旗風、臘、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、
 睦月、如月、彌生、山風、海風、江風、

【航海中】

伊二四、伊二三 (二十三日長浦發—佐世保へ)
 伊夕立、五月雨、村雨、春雨、時雨、白露、有明、
 夕暮 (二十三日佐世保發—横須賀へ)
 鶴見 (二十三日鎮海發—舞鶴へ)
 野島 (二十三日佐世保發—基隆へ)

涼風、大湖、楡
 伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、
 伊六六、伊六七
 伊鴻、隼、鶴、鴨、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、
 雄、鷲、雁、鳩
 伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 伊掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、膠州、襟裳、室戸、佐多、鳴戸、間宮

(號外七頁、別紙一葉添)

0523

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 辭 令

昭和十二年十一月二十四日(水)

海軍大臣官房

參謀部第一部長ヲ命ス	海軍少將 近藤 信竹
參謀部第三部長ヲ命ス	同 野村 直邦
參謀部第二部長ヲ命ス	同 三川 軍一
通信部第十一課長兼第十二課長ヲ命ス	海軍大佐 中杉 久治郎
參謀部第八課長ヲ命ス	同 井上 保雄
參謀部第二課長ヲ命ス	同 金澤 正夫
參謀部第一課長ヲ命ス	同 福留 繁
報道部第三課長ヲ命ス	同 原田 清一

參謀部第七課長ヲ命ス	海軍大佐 前田 稔
報道部第一課長ヲ命ス	同 山崎 重暉
參謀部第六課長ヲ命ス	同 伊藤 賢三
通信部第九課長ヲ命ス	同 原 鼎三
參謀部第四課長ヲ命ス	同 河野 千萬城
通信部第十課長ヲ命ス	同 黒瀬 浩
參謀部第五課長兼報道部第二課長ヲ命ス	同 小川 貫靈
參謀部第一部勤務ヲ命ス	同 横井 忠雄
報道部第三課勤務ヲ命ス	海軍中佐 梅崎 卯之助

海軍公報 (部内限) 號外

報道部第三課勤務ヲ命ス	海軍中佐	水野 恭介
同	同	松崎 彰
參謀部第三課長ヲ命ス	同	田部 明
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	仁科 宏造
參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス	同	大野 竹二
參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス	同	岡田 爲次
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	同	中瀬 浜
參謀部第三部第七課勤務ヲ命ス	同	林 榮 邇
參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス	同	松本 毅
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス	同	兄部 勇次
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	同	

參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	海軍中佐	山本 親雄
同	同	栗原 悦藏
報道部第二課兼第三課勤務ヲ命ス	同	松島 慶三
報道部第三課勤務ヲ命ス	同	相徳 一郎
通信部第九課勤務ヲ命ス	同	石塚 千俊
參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス	同	重廣 篤雄
參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス	同	柳澤 藏之助
報道部第一課兼第三課勤務ヲ命ス	同	前田 精
參謀部第三部第七課勤務ヲ命ス	同	桑原 重遠
參謀部第三部第六課兼報道部第一課勤務ヲ命ス	同	光延 東洋
報道部第一課勤務ヲ命ス	同	

參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス	海軍中佐	清水 健
同		馬場 良文
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス	同	松原 明夫
參謀部第三部第七課勤務ヲ命ス	同	太田 信之輔
參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス	同	杉浦 矩郎
參謀部第二部第三課勤務ヲ命ス	同	高橋 千軍
參謀部第二部第三課兼第四課勤務ヲ命ス	同	川口 雅雄
通信部第十課兼第九課勤務ヲ命ス	同	山澄 忠三郎
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	同	神 重 徳
報道部第一課勤務ヲ命ス	海軍少佐	前田 直
報道部第三課勤務ヲ命ス		
通信部第九課勤務ヲ命ス	海軍少佐	吉田 利喜藏
同		大橋 恭三
報道部第一課勤務ヲ命ス	同	山田 達也
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同	同大勳位 朝 融 王
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	海軍少佐	鹿岡 圓平
參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス	同	山路 一行
參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス	同	安田 翁
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同	大前 敏一
參謀部第三部兼報道部第一課第二課勤務ヲ命ス	同	馬渡 重和
參謀部第三部第七課勤務ヲ命ス	同	柚木 重徳
參謀部第二部第三課勤務ヲ命ス		

參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス	海軍少佐 今里 義光
同	小關 晟
參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス	同
同	高崎 能彦
參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス	同
同	山口 肇
報道部第二課兼第三課勤務ヲ命ス	同
同	高瀬 五郎
參謀部第三部兼報道部第二課勤務ヲ命ス	同
同	木阪 義胤
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	同
同	佐々木 彰
參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	同
同	和田 雄四郎
通信部第九課兼參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス	同
同	岡村 於菟彦
參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス	同
同	森川 秀也
通信部第十一課兼第九課、第十二課勤務ヲ命ス	同

參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス	海軍少佐 川 瀬 薫
同	花岡 雄二
參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス	同
同	扇 一 登
參謀部第一部兼報道部第一課勤務ヲ命ス	同
同	今 泉 肇
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同
同	中村 三男
參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス	同
同	同大勳位 宣仁 親王
通信部第九課勤務ヲ命ス	同
同	海軍少佐 重川 俊明
通信部第十二課兼第十一課勤務ヲ命ス	同
同	和智 恒義
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同
同	山本 正
通信部第十課勤務ヲ命ス	同
同	三浦 徳四郎

通信部第十課勤務ヲ命ス	同	海軍大尉	滿武 善一
通信部第九課兼第十二課勤務ヲ命ス	同		三品 伊織
參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス	同		稻見 高男
參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス	同		鈴木 英
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		鹽見 三郎
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		飯田 久世
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同		手島 勇雄
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		前田 鐵志
參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス	同		安村 對一
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		塚本 昇
參謀部第三部第七課勤務ヲ命ス	同		久住 忠男
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		石黒 進
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		安井 銳二
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同		三浦 重房
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		富永 義秋
通信部第十課勤務ヲ命ス	同		加藤 實
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同		市來崎 秀丸
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同		小泉 實三郎
通信部第九課勤務ヲ命ス	同		半田 仁貴知
通信部第十課勤務ヲ命ス	海軍中尉		田中 友信

海軍公報 (部内限) 號外

通信部第十課勤務ヲ命ス	海軍中尉	堀	和助
通信部第十課勤務ヲ命ス	海軍少尉	西野	正男
通信部第十課勤務ヲ命ス	海軍機關中佐	釜田	勇
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス	海軍主計中尉	高橋	市
通信部第十一課勤務ヲ命ス	海軍特務少尉	田所	善太郎
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	木田	駒吉
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	潮木	直保
通信部第十課勤務ヲ命ス	海軍兵曹長	關根	吉藏
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	町田	喜平
通信部第十課勤務ヲ命ス	海軍主計兵曹長	高橋	義雄
海軍司法事務官	楠田	直方	
報道部第二課勤務ヲ命ス	海軍屬	小幡	政義
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	宇野	理
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	山岸	隆一郎
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	岩本	榮次郎
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス	海軍技手	坂部	悌次
通信部第十課勤務ヲ命ス	同	中山	重行
通信部第十課勤務ヲ命ス (以上一、三、五、七、九、十一、十三、十五、十七、十九、二十一、二十三、二十五、二十七、二十九、三十一、三十三、三十五、三十七、三十九、四十一、四十三、四十五、四十七、四十九、五十一、五十三、五十五、五十七、五十九、六十一、六十三、六十五、六十七、六十九、七十一、七十三、七十五、七十七、七十九、八十一、八十三、八十五、八十七、八十九、九十一、九十三、九十五、九十七、九十九、一百)	陸軍航空兵大佐	河邊	虎四郎
參謀部第一部兼第一課勤務ヲ命ス	陸軍砲兵中佐	山本	清衛
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス			

通信部第九課勤務ヲ命ス 陸軍砲兵中佐 中野 良次

參謀部第一部勤務ヲ命ス 陸軍歩兵中佐 高嶋 辰彦

參謀部第一部勤務ヲ命ス 陸軍砲兵中佐 吉田 權八

參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス 陸軍砲兵中佐 有 末 次
本營海軍部

海軍公報(部内限) 號外

0530

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十三號

昭和十二年十一月二十五日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第四八三六號

所屬長官ハ十二月一日現在員(特ニ指定スル者ヲ除ク)

ニ付左記標準ニ依リ年末賞與ヲ支給スベシ

昭和十二年十一月二十五日

海 軍 大 臣

記

區 分

人

賞與額(本俸又ハ給料ニ付)

一、五箇月分以内

一、五箇月分以内

一、五箇月分以内

一、五箇月分以内

四十五日分以内

百 圓 以 内

○ 通 牒

海軍ノ學校ニ兼務スル
陸軍 武官

海人機密第一號ノ四四二一
昭和十二年十一月二十五日

海軍省人事局長
海軍省經理局長

關係各所轄長殿

海軍又ハ陸軍ニ召集セラレタル者及陸軍ニ勤務ノ海軍人ニ對スル官房機密第四八三六號ニ依ル年末賞與ハ左記ニ依リ支給スルモノト了知相成度

記

一、海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員備人ニシテ在籍ノ儘海軍ニ召集セラレタルモノニ對シテハ海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員備人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付召集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍應ニ於テ支給シ召集中ノ海軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ

海軍公報(部内限) 第二千七百七十三號

昭和十二年十一月二十五日

一一四九

付名集中ノ勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ現所屬應ニ於テ支給ス

二 海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘陸軍ニ召集セラレタルモノニ對シテハ海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付名集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍應ニ於テ支給ス

三 海軍軍人ニシテ支那事變ニ關シ陸軍ノ勤務ニ從事セシメラレタルモノニ對シテハ陸軍ニ於ケル勤務日數ヲ通算シ算出シタル金額ヲ海軍ニ於テ支給ス

海人機密第一號ノ四四三

昭和十二年十一月二十五日

海軍省人事局長

海軍省經理局長

關係所轉長殿

海軍現役武官商船學校等配屬令及海軍現役武官水産講習所配屬令ニ依リ配屬セラレタル海軍武官ノ年末賞與支給ニ關スル件申進
爾今海軍現役武官商船學校等配屬令及海軍現役武官水産講習所配屬令ニ依リ公立商船學校、朝鮮總督府遞信

局海員養成所又ハ水産講習所ニ配屬セラレタル海軍武官ノ當該學校、海員養成所又ハ講習所ニ配屬中ノ日數(公務ニ因ラザル傷疾疾病ノ爲又ハ自己ノ願ニ依リ勤務ニ服セザル間ノ日數ヲ除ク)ハ勤務日數ニ之ヲ通算シ本俸支給應ニ於テ年末賞與ヲ支給スルモノト了知相成度

經豫第三號ノ三二二

昭和十二年十二月二十二日

海軍省經理局長

各關係廳長
各契約擔任官 殿

輸入爲替證明書ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ經豫第三號ノ二九五(昭和十二年九月二十日海軍公報部内限)ニ依ル外左記ニ依リ處理相成度

追テ本件ハ十二月一日作製ノ分ヨリ施行ノコトト御了知相成度

記

一 證明書ノ記載法

經豫第三號ノ二九五ノ記註例ニ依ル外左記ノ通り一定ス

イ 價格ハ輸入申請書ニ記載セル價格ヲ記載スルコト

ロ 輸入時期ハ積出シヲ要スル時期ヲ記載スルコト

二 證明書ノ説明資料

證明書ニハ左記事項ヲ説明スル資料一通ヲ添付スルコト

イ 輸入品其ノ儘ヲ海軍ニ納入セシムル場合

(一) 外國品購入ノ認許ヲ要スルモノニアリテハ認許月日其ノ他ニアリテハ外國品購入ヲ必要トスル詳細ナル理由

(二) 契約納期

ロ 前號ニ該當セザル場合

(一) 外國品購入ヲ必要トスル詳細ナル理由

(二) 海軍ニ於テ證明ヲ要スル理由

(三) 原材料ニ對シテハ數量算出ノ基礎、機械器具ニアリテハ海軍軍需品ノ生産ニ利用スル割合並ニ海軍ヨリノ受注量ニ及ボス影響等ヲ詳細ニ説明スル資料

經豫第三號ノ三三四

昭和十二年十一月二十五日

海軍省經理局長

各支出官殿

年末賞與支出科目ノ件通牒

本年官房機密第四八三六號ニ依ル年末賞與支出科目ハ左ノ通ト御承知相成度

一 賞與ノ科目設置アルモノ及特ニ指示アル場合ノ外

各基本給支辨科目ヨリ支出ノコト

二 十二月一日附所屬ヲ轉シ又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ

基本給支辨科目ヲ異ニスル者ニ付テハ從來ノ基本給

支辨科目ヨリ支出ノコト

三 十二月一日附服役延期ヲ命ゼラルル者ニ付テハ臨時軍事費ヨリ支出ノコト

經豫第三號ノ三二五

昭和十二年十一月二十五日

海軍省經理局長

各支出官殿

年末賞與支給額調ノ件通牒

本年官房機密第四八三六號ニ依ル年末賞與支給額調昭和六年經豫第五七四號ニ準シ調製來ル一月十五日迄ニ

當局ニ提出相成度

追テ一般會計歲出臨時部航空隊設備費ハ土木建築關係ト共ノ他ノ分トヲ區分相成度

海軍公報(部内限)第二千七百七十三號

昭和十二年十一月二十五日

一一五二

○辭令

上海へ出張ヲ命ス(計上明海軍省) 水栓手 向井 重作

○雜款

○旗艦變更 第三航空戰隊司令官ハ本月二十四日旗艦ヲ能登呂ヨリ

三、南支、臺灣方面

船名	發地名	月日	時刻	行先	海軍ニテ優先船 室豫約數(一等)	各日乘船名、乘船 期日申込場所	記 事
高砂丸	門司	三月五日	二〇〇	基隆	五五(内一九)	大阪商船本社	一、厦門以北所在艦船行ハ基隆、汕頭、高雄ニテ夫々各部隊指揮官ノ派遣スル通信艦便ニ連絡ノコト
富士丸	門司	三月九日	二〇〇	基隆	八〇(内四六)	近海郵船本社	二、豫約二等船室ハ一等
高砂丸	基隆	三月十日	二〇〇	門司	四〇	大阪商船臺北支店	
蓬萊丸	基隆	三月七日	一七三〇	門司	九五(内五〇ハ二等船室)	大阪商船臺北支店	

四、加賀、第二十九驅逐隊行ハ佐世保ニテ乘艦ノコト

香久丸ニ變更セリ

○十二月一日附士官異動ノ爲支那沿岸及臺灣方面行便船ノ件

一、北支方面 適宜ノ便
二、上海方面 速ニ佐鎮副官宛乘船手配申込ムコト
佐鎮ハ右ニ依リ日本郵船長崎支店トモ連絡ノ上朝日丸及通信艦便ヲモ考慮シ乗船(艦)割ヲ指定ス但シ連絡船ハ成ルベク十二月四日及八日長崎發便ヲ利用スルコト

○艦船所在

△印ハハホセ
指定ヲ要セズ

○十一月二十五日午前十時調

【横須賀】

對馬△愛宕△阿武隈△大鯨△▽八雲△
▽山城△、那珂、春日、陸奥、長門、
▽五十鈴、口高雄、摩耶、島海

沖風△峯風△夕風、▽羽風、秋風、▽島風、
灘風、沙風、▽夕立、五月雨、村雨、春雨、
▽時雨、白露、有明、夕暮、▽臘、曙、潮、
▽天霧、朝霧、夕霧

伊七△
富士△、尻矢

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△
呂五八△、呂五九△、▽伊一、伊二、伊三、
▽伊六、伊四、伊五

【浦賀】

(霞)△

【館山】

澤風△

【大湊】

▽神風、野風、波風、沼風、帆風

【函館】

大泊

【吳】

▽伊勢△、衣笠、青葉、長鯨△、熊野、鈴谷、
日向、鬼怒、▽神通

夕顔、矢風、▽薄、葛、藤、白雲、▽綾波、

浦波、波磯、敷波

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△
呂二八、伊五一、伊五五△、伊七一△、
▽呂三四、呂三三、▽伊五三、伊五四、
▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊六八、
伊六九、伊七〇

攝津
(蒼龍)△(千歲)△(千代田)△
古鷹△

【大阪】

古鷹△

(山雲)△(峯雲)△

【神戸】

▽伊七二△、伊七三△
(荒潮)△(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

【相生】

常磐△

石廊△

【江田内】

平戸、淺間

【徳山】

隠戸、襟裳

【舞鶴】

吾妻△

▽東雲△、叢雲△、薄雲△
伊五二△

(掖)△

【佐世保】

赤城△、磐手△、長良、▽金剛△、▽霧島、
榛名、▽山良、名取、▽川内、▽羽黒、那智、
▽迅鯨、球磨

梨△、竹△、榎△、桃△、柳△、檜△、葦△、▽伊五二△、
菱△、蓬△、▽夕風、朝風、▽文月、水無月、

長月、皁月、白雪、□初霜、若葉、子日、
初春、□菊月、望月、夕月、三日月、朝潮、
滿潮▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、□呂六三、
呂六八、□呂六七、呂六五、呂六六、
□伊五九、伊六〇、伊六三

敷島▲、洲崎、知床
(夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】

鳳翔

【長崎】

卯月 (利根)▲

【馬公】

刈萱

【基隆】

狹霧、吳竹

【鎮海】

□華

【作業地】

□出雲、嚴島、▽安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
駒橋、白鷹、▽沖島、▽北上、▽妙高、多摩、
□足柄、▽天龍、龍田、▽木曾、▽夕張、
能登呂、神威、▽龍驤、▽加賀、勝力、
大井、淀
栗、榎、蓮、□雷、電、響、□初雪、吹雪、
□曉、漣、□若竹、早苗、□芙蓉、朝顔、□疾風、
追風、□菊、葵、萩、□松風、朝風、旗風、
春風、□睦月、如月、彌生、□山風、海風、

【航海中】

□伊二四、伊二三 (二十三日長浦發—佐世保へ)

鶴見 (二十三日鎮海發—舞鶴へ)

野島 (二十三日佐世保發—基隆へ)

伊二三、伊二二 (二十四日吳發)

早鞆 (二十四日徳山發—佐世保へ)

加古 (二十五日佐世保發—小濱へ)

江風、涼風、□大潮、楡、柿
□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、
伊六六、伊六七
□鴻、集、鶴、鴨、□千鳥、初雁、友鶴、真鶴、
□雄、鷺、雁、鳩
□掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
□掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、膠州、室戸、佐多、鳴戸、間宮

(辭令公報添)

0536

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十四號

昭和十二年十一月二十六日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第四四九六號ノ六

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

昭和十二年十一月二十日

海 軍 大 臣

左表中第三海軍軍用郵便所ノ欄「第二艦隊ノ一艦」ヲ

「第四艦隊ノ一艦」ニ、「第二艦隊」ヲ「第四艦隊」ニ

改ム

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所

設置ノ件ナリ(九月一日海軍公報)

官房第六〇〇三號

艦營需品定額表中數量左ノ通改正ス

昭和十二年十一月二十六日

海 軍 大 臣

航海長 主管

艦船部隊名

區別	類別番號	品名	數稱	備品
	第三類・三			
	信號書囊		枚	

記 事

戰艦、練習戰艦、巡洋艦
 加賀、赤城、鳳翔、水上
 機母艦、潜水母艦(大鯨
 ヲ除ク)嚴島、常磐、勝
 力、海防艦
 砲艦、一等驅逐艦、攝津、
 佐伯、大村各航空隊

○ 通 牒

海軍公報(部内限) 第二千七百七十四號

昭和十二年十一月二十六日

一一五五

官房第五九六三號ノ八

昭和十二年十一月二十六日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ關

スル件通牒

報國第一二九號(燒酎聯盟號)、報國第一三五號(第一日本蠶糸號)、報國第一三六號(第二日本蠶糸號)ハ報國第一二三號(第一太平洋號)ニ報國第一三二號(レ一ト號)、報國第一四七號(第一樺太號)、報國第一四八號(第二樺太號)ハ報國第一二八號(帝麻號)ニ準ズルコト、御了知相成度

(十月二十一日官房第五三〇二號ノ八(部内限)公報参照)

經豫第三號ノ三二七

昭和十二年十一月二十六日

海軍省 經理局長

各支出官殿

支拂豫算ニ關スル件通牒

本年内又ハ來年早々支拂ニ要スル支拂豫算増額請求書ハ十二月十一日迄ニ當局ニ提出相成度

○ 辭令

海軍軍事普及部委員ヲ命ス 海軍少佐 細谷 資芳

海軍ニ於ケル造船業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 泉山直三郎

海軍ニ於ケル造兵業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上計五名海軍省) 八坂 猛

○ 雜款

○ 驅逐艦秋風行動豫定 地名 着 發 横須賀 十一月二十六日 十一月二十六日 浦 賀 十一月二十六日

○ 郵便物發送先 第五驅逐隊宛 十二月三日迄ニ到着見込ノモノハ 馬ノ公 其ノ後ハ 横須賀郵便局留置

0538

軍艦白鷹宛

自今

驅逐艦秋風宛

自今

基隆郵便局氣付(軍事郵便)

浦賀船渠株式會社氣付

海軍公報(部内限) 第二千七百七十四號

昭和十二年十一月二十六日

二五七

○艦船所在

○十一月二十六日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、八雲▲

▷山城▲、那珂、春日、陸奥、長門、

▷五十鈴、高雄、摩耶、鳥海

沖風▲、峯風▲、夕風、羽風、秋風、島風、

灘風、汐風、夕立、五月雨、村雨、春雨、

時雨、白露、有明、夕暮、臘、曙、潮、

天霧、朝霧、夕霧

伊七▲

富士▲、尻矢

【飛龍】(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】 太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八、呂五九▲、伊一、伊二、伊三、

伊六、伊四、伊五

【浦賀】(霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 神風、野風、波風、沼風、帆風

【函館】 大泊

【吳】 矢矧、韓崎、比叡、最上▲、三隈▲、扶桑▲、

伊勢▲、衣笠、青葉、長鯨▲、熊野、鈴谷、

日向、鬼怒、神通

夕顔、矢風、薄、葛、藤、白雲、綾波、

浦波、磯波、敷波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五▲、伊七一▲

呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、

伊五七、伊五六、伊五八、伊六八、

伊六九、伊七〇

攝津

(蒼龍)、(千歲)▲、(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】 伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 常磐▲

石廊▲

【江田内】 平戸、淺間

【徳山】 隠戸、襟裳

【舞鶴】 吾妻▲

伊東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

鶴見

【掖】▲

赤城▲、磐手▲、長良、金剛▲、霧島、

榛名、由良、名取、川内、羽黒、那智、

迅鯨、球磨、神威

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、蓼▲

海軍公報(部内限) 第二千七百七十四號 昭和十二年十一月二十六日

一一五九

菱▲蓬▲、□夕風、朝風、□文月、水無月、長月、皐月、白雪、□初霜、若葉、子日、初春、□菊月▲、望月▲、夕月▲、三日月▲、朝潮、滿潮▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六三、呂六八、呂六七、呂六五、呂六六、伊五九、伊六〇、伊六三、伊二二、伊二一

敷島▲、早輦
(夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】 鳳翔 卯月

【長崎】(利根)▲

【馬公】 刈萱

【基隆】 狹霧 野島

【鎮海】 草、楡

【作業地】 □出雲、嚴島、▽安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、駒橋、白鷹、▽沖島、▽北上、▽妙高、多摩、□足柄、▽天龍、龍田、▽木曾、▽夕張、能登呂、▽龍巖、▽加賀、勝力、大井、淀、栗、梅、逆、□雷、電、櫻、□初雪、吹雪、□曉、漣、□若竹、吳竹、早苗、□芙蓉、朝顔、

□疾風、追風、□菊、葵、萩、□松風、朝風、旗風、春風、□睦月、如月、彌生、□山風、海風、江風、涼風、□大潮、柿

伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七

□鴻、隼、鵠、鴨、□千鳥、初雁、友鶴、真鶴、□雉、鷲、雁、鳩

□掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、□掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、室戸、佐多、鳴戸、間宮、洲崎

【航海中】

伊二四、伊二三 (二十三日長浦發—佐世保—)

知床 (二十五日佐世保發—馬公—)

加古 (二十六日小濱發—佐世保—)

(附錄三頁添)

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十五號

海軍大臣官房

昭和十二年十一月二十七日(土)

○通牒

官房第五九七一號ノ七

昭和十二年十一月二十七日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國第一六二號(全國青年學校號) 飛行機
報國第一六三號(第二女學生號)

要目發表範圍及寫真撮影ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間概ネ左記ニ據ルコトト御
了知相成度

記

報國第一六二號(全國青年學校號)ハ報國第一二八號

(帝麻號)ニ報國第一六三號(第二女學生號)ハ報國第

一三一號(大銀座號)ニ準ズ

(十月二十一日官房第五三〇三號ノ八(部内限)公報参照)

○辭令

海軍公報(部内限) 第二千七百七十五號

昭和十二年十一月二十七日

二二六一

(各通)

海軍ニ於ケル造機業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇
ス(計十名海軍省)

鋤崎 正記
茨木 金造
西橋 治雄
沖田 喜代松

○雜款

○驅逐艦變更

第二十四驅逐隊司令ハ十一月二十六日司令驅逐艦ヲ山
風ヨリ海風ニ變更セリ

○郵便物發送先

第一航空戰隊司令部、軍艦龍驤(鳳翔ヲ除ク)宛

自今 吳

第三十驅逐隊(睦月、如月、彌生、皐月)宛

自今 佐世保

軍艦大井宛

0542

海軍公報(部内限)第二千七百七十五號 昭和十二年十二月二十七日

二六二

自今

吳

特務艦早鞆宛	二月二十八日迄	二	到達見込ノモノハ	佐世保
二月十三日迄	二	同	馬	佐世保
二月十九日迄	二	同	佐世保	佐世保
二月二十四日迄	二	同	佐世保	佐世保
去年一月四日迄	二	同	佐世保	佐世保
二月十八日迄	二	同	佐世保	佐世保
二月二十三日迄	二	同	佐世保	佐世保
二月二十七日迄	二	同	佐世保	佐世保

○艦船所在

指△印△ハカフ
指定ヲ要セス

○十一月二十七日午前十時調

【横須賀】 對馬△愛宕△阿武隈△大鯨△八雲△

▷山城△ 那珂、春日、陸奥、長門、

▷五十鈴、高雄、摩耶、鳥海

沖風△峯風△夕風△羽風△秋風△夕立、

五月雨、村雨、春雨、時雨、白露、有明、

夕暮、朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧

伊七△

富士△ 尻矢

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五八、呂五九△ 伊一、伊二、伊三、

伊六、伊四、伊五

【浦賀】(霞)△

【館山】 澤風△

【大湊】 神風、野風、波風、沼風、帆風

【函館】 大泊

【吳】 矢矧、韓崎、比叡、最上、三隈、扶桑△

▷伊勢△衣笠、青葉、長鯨△熊野、鈴谷、

日向、鬼怒、神通、大井

夕顔、矢風、薄、葛、藤、白雲、綾波、

浦波、磯波、敷波

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一、伊七一△、呂三四、

呂三三、伊五三、伊五四、伊五七、

伊五六、伊五八、伊六八、伊六九、

伊七○

攝津

(蒼龍)△(千歲)△(千代田)△

【大阪】 古鷹△

(山雲)△(峯雲)△

【神戶】 伊七二△、伊七三△

(荒潮)△(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

【相生】 常磐△

石廊△

【江田内】 平戸、淺間

【徳山】 襟裳

【別府】 伊五五

【舞鶴】 吾妻△

伊東雲△、叢雲△、薄雲△

伊五二△

鶴見

(叢)△

【佐世保】 赤城△磐手△長良△加古△金剛△霧島△

榛名△由良△名取△川内△羽黒△那智△

▷迅鯨、球磨、神威

梨△竹△榎△桃△柳△檜△薑△

海軍公報(部内限) 第二千七百七十五號 昭和十二年十一月二十七日

二一六三

菱▲蓬▲ 戸夕風、朝風、戸文月、水無月、長月、阜月、白雪、戸初霜、若葉、子日、初春、戸菊月▲、望月▲、夕月▲、三日月▲、戸大潮、朝潮、満潮▲

戸三〇▲、戸三一▲、戸三二▲、戸六〇▲、戸六一▲、戸六二▲、戸六四、戸六三、戸六八、戸六七、戸六五、戸六六、戸五九、戸六〇、戸六三、戸伊二二、戸伊二一、戸伊二四、戸伊二三、敷島▲、早瀬

(夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】 鳳翔 戸陸月、如月、彌生、卯月

【長崎】(利根)▲

【馬公】 刈萱

【基隆】 狭霧

野島

【鎮海】 榆

【釜山】 葦

【作業地】 戸出雲、殿島、戸安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、駒橋、白鷹、戸沖島、戸北上、戸妙高、多摩、戸足柄、戸天龍、龍田、戸木曾、戸夕張、能登呂、戸加賀、勝力、淀

栗、梅、蓮、戸雷、電、響、戸初雪、吹雪、

【航海中】

知床 (二十五日佐世保發—馬公へ)

戸島風、灘風、汐風 (二十六日横須賀發—馬公へ)

戸龍驤 (二十七日寺島水道發—吳へ)

隠戸 (二十七日徳山發—佐世保へ)

戸曉、漣、戸若竹、吳竹、早苗、戸芙蓉、朝顔、戸疾風、追風、戸菊、葵、萩、戸松風、朝風、旗風、春風、戸海風、山風、江風、涼風、梯、戸伊六一、戸伊六二、戸伊六四、戸伊六五、戸伊六六、戸伊六七、戸鴻、隼、鶴、鴨、戸千鳥、初雁、友鶴、真鶴、戸雉、鷺、雁、鳩、戸掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、戸掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、膠州、室戸、佐多、鳴戸、間宮、洲崎

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十六號

昭和十二年十一月二十九日(月)

海軍大臣官房

○通牒

官房第六〇七一號

昭和十二年十一月二十九日

海軍省 副官

各廳長殿

第一回貯蓄債券ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通日本勸業銀行總裁ヨリ依頼有之候條可然御取計相成度

(別紙)

拜啓時下愈々御清祥之段奉賀候陳者今般當行ニ於テハ臨時資金調整法ノ規定ニ基キ割増金附貯蓄債券ノ發行ヲ命セラレ來ル十二月十六日ヨリ同月二十二日マデノ期間ニ於テ大要別記ノ條件ニ依リ第一回貯蓄債券壹千五百萬圓ヲ賣出スニトニ決定仕候處本債券ハ支那事變ニ際シ巨額ナル事變費ガ一般ニ撒布セラル、ニ依リ其ノ濫費ヲ防止シ且ツ貯蓄ヲ獎勵スル主旨ヲ以テ發行セ

ラレ共ノ收入金ハ舉ゲテ政府ニ於テ必要ナル用途ニ充當セラル、次第二有之候間當行ハ國策ニ順應シテ一意奉公所期ノ目的ヲ達成致度存念ニ有之候ニ付テハ公務御多端ノ央誠ニ恐縮ノ至リニ奉存候得共此際特ニ貴省御關係各方面ニ本債券ノ主旨御示達被成下共ノ御援助御協力ニ依リ好成績ヲ收メ得候様何卒特別ノ御配慮相煩度此段御願旁御挨拶申上度如斯御座候 敬具
追而本債券ノ賣出發表ハ來ル十二月一日ニ有之候間乍恐縮夫レ迄ハ特ニ御内秘ノコトニ御願申上度併テ御依頼申上候

昭和十二年十一月八日

株式會社日本勸業銀行

總裁 石井光雄

海軍次官 山本五十六殿

記

第一回貯蓄債券賣出要項

一、發行總額 壹千五百萬圓

海軍公報(部内限) 第二千七百七十六號

昭和十二年十一月二十九日

一一六五

一、各債券ノ金額 拾五圓

一、同割引賣出價格 拾圓

一、償還方法 毎年二回(二月、八月)抽籤
ニ依リ毎回六萬圓(債券四千通)以上ヲ償還シ昭和三十三年三月一日殘額全部ヲ償還ス

一、割増金 償還ノ都度添附スベキ割増金ハ左記ノ通り

等級	一箇ノ金額	初回	第二回以後
一等	一、五〇〇 <small>円</small>	五〇 <small>円</small>	一〇 <small>円</small>
二等	一〇〇	二〇〇	一〇〇
三等	二五	八五〇	二八〇

尙割増金ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國債證券ヲ以テ交付スルコトアルベシ

○ 辭令

徵備船住吉丸ニ於ケル事務ヲ囑託ス 平松傳右エ門

但シ報酬月額百四拾五圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス(九十五海軍省)
海軍軍事普及部委員海軍少佐 細谷 資芳
海軍軍事普及部幹事ヲ命ス(同上)海軍軍事普及部委員長)

○ 雜款

○ 旗艦變更
第十一戰隊司令官ハ本月十二日旗艦ヲ一時安宅ヨリ比良ニ變更シ同十三日安宅ニ復歸セリ

○ 驅逐艦變更
第六驅逐隊司令ハ本月二十三日司令驅逐艦ヲ響ヨリ雷ニ、同二十七日雷ヨリ電ニ變更シ、同二十八日響ニ復歸セリ
第十五驅逐隊司令ハ本月十八日司令驅逐艦ヲ藤ヨリ薄ニ變更セリ

○ 郵便物發送先
第四驅逐隊(驅逐艦羽風)宛 東京石川島造船所氣付
自今

○ 赴任先ノ件
一、第四水雷戰隊(司令部本會、第六驅逐隊、第十驅

逐隊（狹霧缺）へノ轉勤者

十二月五日迄ハ 旅順

其ノ後ハ 佐世保ニ待機ノコト

二、室戸及室戸病院へノ轉勤者ハ吳ニテ着任ノコト

（室戸行動豫定 十一月三十日吳入港
十二月三日一〇〇〇出港）

○南支方面轉勤者便船ノ件

南支方面轉勤者ニ對シ左ノ便アリ

基隆、厦門方面 十二月三日佐世保發

汕頭、廣東沖方面 第二十三驅逐隊各艦

厦門、福州方面 同 七日基隆發 驅逐艦一隻

同 同 十日同 同

汕頭、廣東沖方面 同 八日高雄發 同

同 同 十一日同 同

（註）作業ノ都合ニ依リ變更ノ場合ハ改メテ通知ス

○艦船所在

▲印ハ「ハ」
指定ヲ要セズ

○十一月二十九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、八雲▲、

山口▲、那珂、春日、陸奥、長門、

五十鈴、高雄、摩耶、鳥海

沖風▲、峯風▲、夕風、秋風、夕立、五月雨、

村雨、春雨、時雨、白露、有明、夕暮、

隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧

伊七▲

【長浦】

飛龍▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、

呂五八、呂五九▲、伊一、伊二、伊三、

伊六、伊四、伊五

【浦賀】

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

神風、野風、波風、沼風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、三隈▲、扶桑▲、

日向、鬼怒、伊勢▲、衣笠、青葉、長鯨▲、熊野、鈴谷、

夕顔、矢風、薄、葛、藤、白雲、綾波、

浦波、磯波、敷波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲、

呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、

伊五七、伊五六、伊五八、伊六八、

伊六九、伊七〇

【大阪】

蒼龍、(千歲)▲、(千代田)▲

【神戸】

荒潮▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、長良、加古、金剛▲、霧島、

【佐世保】

榛名、由良、名取、川内、羽黑、那智、

【佐世保】

迅鯨、球磨、神威

【佐世保】

梨竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、蓼▲、

【佐世保】

菱▲、蓬▲、夕風、朝風、文月、水無月、

【佐世保】

長月、皐月、白雪、初霜、若葉、子日、

海軍公報(部内限) 第二千七百七十六號 昭和十二年十一月二十九日

一六九

初春、□睦月、如月、彌生、□菊月、望月、夕月、三日月、□大潮、滿潮▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六四、□呂六三、呂六八、□呂六七、呂六五、呂六六、

□伊五九、伊六〇、伊六三、□伊二二、伊二一、□伊二四、伊二三

敷島▲、隱戸、襟裳

(夏雲)▲(伊七四)▲

鳳翔

寺島水道

卯月

【長崎】(利根)▲

【馬公】野島

【基隆】龍田

【高雄】早苗

【鎮海】檜

【釜山】石葦

【作業地】□出雲、嚴島、▽安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、駒橋、白鷹、▽沖島、▽北上、▽妙高、多摩、

□足柄、▽天龍、▽木曾、▽夕張、能登呂、▽加賀、勝力、淀

栗、榊、逆、□雷、電、響、□初雪、吹雪、

□曉、漣、狹霧、□若竹、吳竹、□芙蓉、朝顔、

刈萱、□疾風、追風、□菊、葵、萩、□松風、

朝風、旗風、春風、□海風、山風、江風、涼風、柿、朝潮

□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、伊六六、伊六七

□鴻、隼、鶴、鴨、□千鳥、初雁、友鶴、真鶴、

□雉、鷺、雁、鳩

□掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、

□掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、室戸、佐多、鳴戸、間宮、洲埼、

早鞆

【航海中】

知床 (二十五日佐世保發—馬公へ)

□島風、灘風、沙風 (二十六日横須賀發—馬公へ)

鶴見 (二十七日舞鶴發—徳山へ)

帆風 (二十八日大湊發—横須賀へ)

□羽風 (二十九日横須賀發—石川島へ)

(辭令公報添)

0550

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十七號

海軍大臣官房

昭和十二年十一月三十日(火)

○令 達

官房第五七九四號ノ二

昭和十二年度歳入科目中左ノ通追加ス

昭和十二年十一月二十四日

海軍大臣

歳入經常部

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(官業及官有) 財産收入(料)	(官有物貸下)	浮船集食下料			ス又

官房機密第三六五五號ノ七

臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十二年十一月二十四日

海軍大臣

款	項	目	節	會計科目 電信略號
(臨時軍事費) (海軍臨時軍) 事費		扶助金		ナ三
		×賞與	下士官兵家族扶助金	ナ五

官房機密第三六五五號ノ八

臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス

昭和十二年十一月二十四日

海軍大臣

第二條中左ノ追加フ

一八 扶助金

服役延期者タル下士官及兵ノ家族ニ給スル分

○雜 款

海軍公報(部内限) 第二千七百七十七號

昭和十二年十一月三十日

二七二

○驅逐艦變更
第二十四驅逐隊司令ハ十一月二十六日司令驅逐艦ヲ山風ヨリ海風ニ變更セリ

○第三驅逐隊(島風、灘風、汐風)行動豫定
地名 着 發
横須賀 十一月二十六日
馬公 十一月三十日

○特務艦知床行動豫定
地名 着 發
佐世保 十二月九日 十二月十日
吳 十一月十一日 十二月十二日
大阪 十一月十三日 十二月十四日
横須賀 十一月十六日

○郵便物發送先
第三驅逐隊(島風、灘風、汐風)宛
自今 基隆局氣付(軍事郵便)

第二掃海隊宛
十二月一日以後 佐世保局氣付(軍事郵便)

特務艦知床
十二月九日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
同 十一月迄ニ同 吳

同 十三日迄ニ同 大 横須賀
其ノ後ハ

○事務所設置
軍艦千代田艤裝員事務所ヲ吳海軍工廠内ニ設置シ本月二十二日ヨリ事務ヲ開始セリ

○赴任先ノ件
赴任先艦船ノ行動所在等不明ノ向ハ最寄鎮守府、要港部司令部又ハ艦隊司令部ニ就キ承知セラレ度 (海軍省 副官)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月三十日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、八雲▲、

山城▲、那珂、春日、陸奥、長門、

五十鈴、高雄、摩耶、鳥海

沖風▲、峯風▲、夕風、秋風、夕立、五月雨、

村雨、春雨、時雨、白露、有明、夕暮、

隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧

伊七▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

太刀風、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八、呂五九、伊一、伊二、伊三、

伊六、伊四、伊五

【石川島】羽風

【浦賀】(霞)▲

【館山】澤風▲

【大湊】神風、野風、波風、沼風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、三隈▲、扶桑▲、

伊勢▲、衣笠、青葉、長鯨▲、熊野、鈴谷、

日向、鬼怒、神通、大井、龍驤

夕顔、矢風、薄、葛、藤、白雲、綾波、

浦波、磯波、敷波

呂五一▲、呂五三▲、呂五六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲

呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、

伊五七、伊五六、伊五八、伊六八、

伊六九、伊七〇

攝津

(蒼龍)▲、(千歲)▲、(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】

伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【江田内】

平戸、淺間

【宇品】

室戸

【舞鶴】

吾妻▲

伊東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

【佐世保】

(霞)▲

赤城▲、磐手▲、長良、加古、金剛▲、霧島、

榛名、山良、名取、川内、鳳翔、羽黑、

那智、迅鯨、球磨

梨竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、童▲、蓼▲、

菱▲、蓬▲、夕風、朝風、文月、水無月、

海軍公報(部内限)第二千七百七十七號

昭和十二年十一月三十日

一一七三

長月、皐月、白雪、□初霜、若葉、子日、
 初春、□臘月、如月、彌生、卯月、□菊月、
 望月、夕月、三日月、□大湖、滿湖、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六四、呂六三、
 呂六八、呂六七、呂六五、呂六六、
 伊五九、伊六〇、伊六三、伊二二、
 伊二一、伊二四、伊二三、
 敷島、襟裳、鳴戸

(夏雲) (伊七四)

〔長崎〕 (利根)

〔馬公〕 野島、知床

〔高雄〕 早苗

〔鎮海〕 檜

〔釜山〕 葦

〔作業地〕 □出雲、嚴島、□安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、
 勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
 駒橋、白鷹、□沖島、□北上、□妙高、多摩、
 □足柄、□天龍、龍田、□木曾、□夕張、
 能登呂、□加賀、勝力、淀、神威、
 栗、梅、蓮、□響、雷、電、□初雪、吹雪、
 □曉、漣、狹霧、□若竹、吳竹、□芙蓉、朝顔、
 刈萱、□疾風、追風、□菊、葵、萩、□松風、
 朝風、旗風、春風、□海風、山風、江風、
 涼風、柿、朝潮

□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、
 伊六六、伊六七、
 □鴻、集、鶴、鴨、□千鳥、初雁、友鶴、真鶴、
 □雉、鷺、雁、鳩、
 □掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 □掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
 掃一八、
 朝日、膠州、佐多、間宮、洲崎、早鞆

〔航海中〕

□島風、灘風、汐風 (二十六日横須賀發—馬公)

鶴見 (二十七日舞鶴發—徳山)

隠戸 (二十九日佐世保發—吳)